

認知症の人にやさしい住まい とコミュニティ

住まいは認知症の人にとって生活の基盤であり、「認知症の人にやさしいまち」の不可欠な要素の一つです。しかし、これまで特定の施設を除いて、とりわけビジネスセクターとして住まいを実際にデザインしたり、運用する側との対話はほとんどありません。

本セッションでは、認知症の人の住環境に関する研究に取り組む研究者と、英国の「認知症の人にやさしいデザイン」を取り入れた住居等の開発と販売、運営に取り組むディベロッパー、そして実際に認知症の人にやさしい住まいの設計に取り組む建築士にお集まりいただき、それぞれの知見と理念を共有します。

そして、フロアとの対話を通じて、「認知症の人にやさしい住まいとコミュニティ」の実現に向けたヒントときっかけを、それぞれの参加者が得ることを目的とします。

2018年9月1日（土）15時00分～16時40分

Dementia Friendly Japan Summit 2018@カルッツかわさき

オーガナイザー

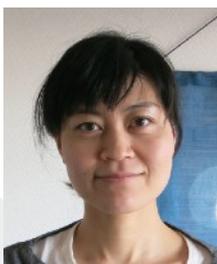


河野 禎之

筑波大学

臨床心理士。筑波大学助教。専門は認知症の認知機能障害及び行動・心理症状、QOLのアセスメント、認知症の人と家族のダイバーシティ・インクルージョン、認知症フレンドリー・コミュニティの評価等。Dementia Friendly Japan Initiative メンバー。

登壇者



大島千帆 氏

埼玉県立大学

社会福祉士、精神保健福祉士。日本社会事業大学大学院博士後期課程修了。博士（社会福祉学）。埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授。専門は、福祉住環境、認知症のケア環境。



奥村佳明 氏

東急不動産株式会社

ヘルスケア事業本部シニアライフ事業部課長補佐。2004年早稲田大学卒業。同年東急不動産株式会社入社。2007年より現職。これまでに10物件以上のサ高住、有料老人ホーム等の事業企画・計画推進・開業準備等に携わる。



堺万佑子 氏

株式会社シルバーウッド

三重大学工学部建築学科卒業。建設会社を経て、2005年株式会社シルバーウッド入社。2011年より自社運営のサービス付き高齢者向け住宅「銀木屋」の設計および運営サポートを担当。

参加費や申し込み方法等については、Dementia Friendly Japan Summit 2018のホームページでご確認ください。

https://peraichi.com/landing_pages/view/dfjs2018 もしくは「DFJS2018」で検索